

## 平成30年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	千代田区立図書館 (千代田図書館、日比谷図書文化館、四番町図書館、昌平まちかど図書館、神田まちかど図書館)	所在地	【千代田】千代田区九段南1-2-1 【日比谷】千代田区日比谷公園1-4 【四番町】千代田区四番町1 【昌平まちかど】千代田区外神田3-4-7 【神田まちかど】千代田区神田司町2-16
-----	--	-----	---

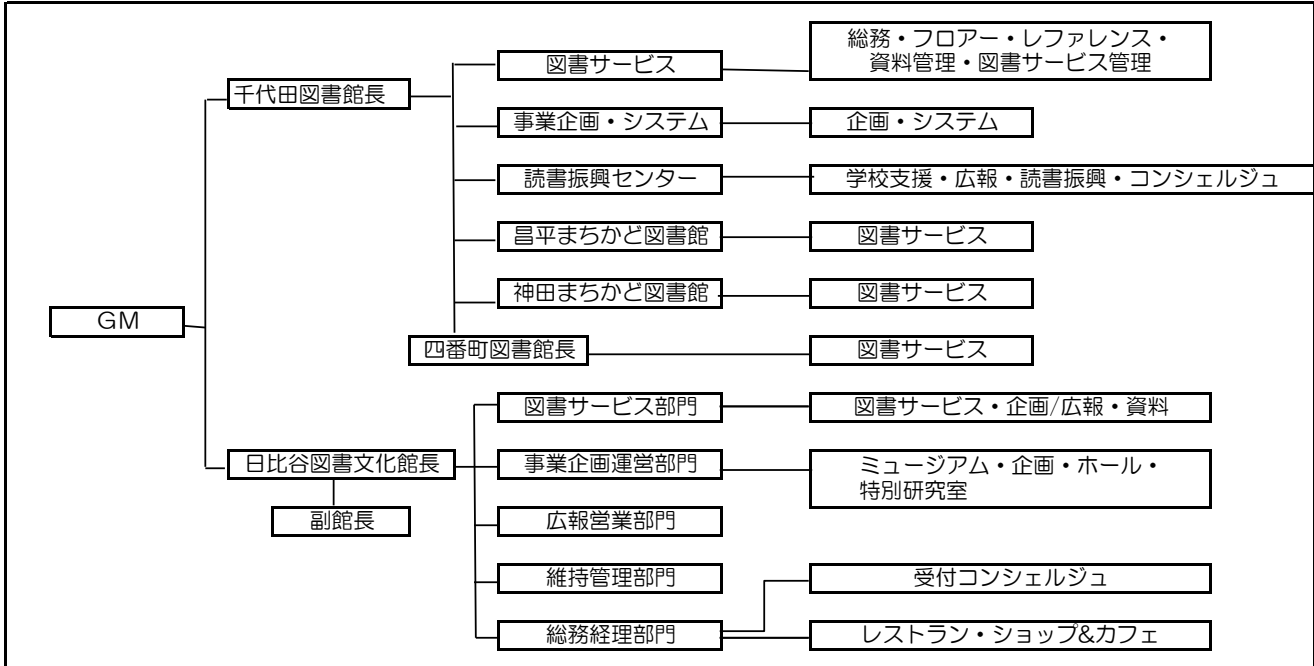
### 1 指定管理者の概要

名称	千代田ルネッサンスグループ	代表者	(株)小学館集英社プロダクション 代表取締役社長 都築 伸一郎 構成企業：(株)ヴィアックス 代表取締役社長 小川 巧次 ：(株)図書館流通センター 代表取締役社長 細川 博文 ：カトリックリソイビズ(株) 代表取締役社長 間野 文祥 ：(株)シェアード・ビジョン 代表取締役社長 菅谷 彰 ：大星ビル管理(株) 代表取締役社長 寺島 剛紀
所在地	千代田区神田神保町2-30		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日	報告期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日

### 2 管理施設の概要

施設の目的	区立図書館の伝統と新しい行政に取り組む千代田区の特徴を生かし、文化情報資源の総合センターとしての役割を担い、基本的な図書館サービスの拡充や区民の生涯学習に資するとともに、新たな事業やサービスを積極的に展開し、公共図書館の将来像を全国に発信していく。
管理業務の内容	(1) 図書館の利用に関する業務 (2) 図書館の事業の実施に関する業務 (3) その他、館の運営に関し必要と認める業務

### 3 管理体制の状況



### 4 事業実績等

#### (1) 来館者

年間来場者数	平成30年度	平成29年度	平成28年度
千代田図書館	587,151人	600,403人	661,545人
日比谷図書文化館	761,301人	664,918人	689,527人
四番町図書館	266,505人	261,561人	273,221人
昌平まちかど図書館	101,341人	102,169人	106,727人
神田まちかど図書館	166,294人	167,856人	182,909人

#### (2) 図書館業務(平成30年度)

利用状況	登録者数	蔵書数	貸出数(団体貸出を含む)	レファレンス受付件数	データベース利用件数
千代田図書館	33,374人	206,151点	289,368点	4,932件	4,994件
日比谷図書文化館	31,277人	223,353点	170,208点	3,539件	2,482件
四番町図書館	10,466人	109,550点	261,168点	3,562件	3件
昌平まちかど図書館	3,728人	28,799点	74,074点	-	-
神田まちかど図書館	5,845人	30,126点	142,523点	-	-

5 収支の状況

収 入		支 出	
指定管理料	833,377,000円	人件費	519,961,038円
研修室、会議室、ホール使用料	35,375,642円	資料費	80,778,589円
レストラン・ショップ&カフェ販売料	87,154,953円	システム運営費	1,263,479円
日比谷カレッジ受講料	6,644,500円	広報費	14,977,983円
特別研究室利用料・日比谷ラボラトリー売上	3,910,470円	一般運営費	40,310,056円
特別展示室入場料	2,766,900円	維持管理費	156,451,276円
コピーサービス利用料等	3,887,710円	一般管理費	20,000,000円
		事業費	138,687,003円
合計 (①)	973,117,175円	合計 (②)	972,429,424円
収支差額 (①-②)	687,751円		

6 指定管理者による自己評価

サービス提供に関して	収支に関して
<p>30年度</p> <p>一昨年度から続く来館者の減少に歯止めをかけ、利用者回復が大きな課題であった今年度。総数約179万7千人の前年度から約8万5千人増(4.8%)の188万2千人とすることができた。減少が続く千代田図書館においても10月度より前年実績を上回り始め下期6か月間で前年同時期より5千5百人増加し、次年度での回復を図る。また、新規登録者数や貸出冊数では、各館で千代田区在住者を中心に前年実績を上回っており、職員の対応や様々な企画事業、広報活動等の継続が利用者回復に繋がった。</p> <p>また、新図書館システムに関しては、毎月のシステム分科会、定例会を通し早い課題の解決を図った他、利用者向け図書館検索システム講習会やWeb図書館、ナクソス・ミュージアム・ライブラリーなどの説明会を実施した。</p> <p>情報セキュリティに関しては、「情報セキュリティ管理委員会」を3回、「情報セキュリティ管理責任者会議」が1回、合同研修を1回開催。更に「情報セキュリティ監査委員」による監査を各館毎に実施し課題解決に取り組んだ。</p> <p>5館一体運営を標榜し2年目の年。利用規定の見直しや合同の部署連絡会議を通し部署間のコミュニケーションは円滑に進むようになり、運営の統一や企画事業等がマンネリ化することなく、各館の特色を生かし乍ら実施できたことは、利用者の信頼回復に大きく貢献したと言える。</p> <p>次年度は地域特性の大きく異なる各館の役割を果たす事により集中して行きたい。</p>	<p>図書館システムと図書館ホームページが区の管理となったため、システム運営費と広報費の支出が減り、指定管理料も減少となった。</p> <p>貸室やレストラン、特別研究席利用料、特別展示室入場料等、有料の各事業は引き続き好調で、ほぼ前年を上回った。</p> <p>天候不順による光熱水費の増加と事業の増収に伴う経費増などは事業収入で吸収でき、年間で687,751円のプラスとなった。</p>

7 区としての評価・今後の方向性

<p>30年度</p> <p>平成30年度の区立図書館の来館者数は、約188万2千人(千代田図書館 約58万7千人、日比谷図書館文化館 約76万1千人、四番町図書館 約26万7千人、昌平まちかど図書館 約10万1千人、神田まちかど図書館 約16万6千人)で、前年度比較すると約8万5千人の増加であった。図書館ホームページの公開停止や図書館システムリプレースによる休館の影響からは徐々に立ち直りつつあるといえる。</p> <p>平成30年3月に新たに稼働した図書館システムについては、稼働直後の様々な問い合わせや要望等の課題解決への取組を行ったほか、利用者向け図書館検索システム講習会の実施など利用方法についての周知も進められた。今後も広報誌やホームページなども活用し、自動貸出機やWeb図書館などの利用方法についての周知にも力を入れていきたい。また、個人情報保護や情報セキュリティに関する職員の意識向上にむけた取組みにも引き続き尽力し、職員一人一人の危機管理意識の向上に努めてほしい。</p> <p>区立図書館5館の一体的な運営体制は整ってきたが、他館職員とのコミュニケーションについては、未だ十分とは言いきれない面もある。全館で協力して改善に向けた取組を行っていただきたい。</p> <p>令和元年度は、四番町図書館の仮施設への移転が予定されている。各館で綿密な連携を図るとともに、円滑に移転できるよう利用者への周知を丁寧に行い、可能な限り既存のサービスを継続できるよう努めていただきたい。また、令和元年度は指定管理期間の折り返し地点となる年度である。より一層の運営体制の強化と図書館サービスの向上を期待する。</p>
--